

本日たじろ正門 全学集会へ

金大中氏への死刑阻止と 韓国民主化闘争連帯と 大北代大勝利と

全学の学友諸君、金大中氏に対する韓国大法院の判決が本日午後2時に行なわれることが明らかになった。全斗煥軍事独裁政権は、この間の世界中に痛きおこった死刑阻止の斗いも前にして、12月判決即時死刑を断念した。しかし、全斗煥は2月大統領選、3月国会開設という強行スケジュールのもと、何か何でも体制を「安定」させんとしている。4日に大統領選の公示を行つた全斗煥政権は、死の前に金大中氏についての「結着」をつけんとしているのだ。

死刑判決、執行を弾固阻止せよ。

金大中氏に対するこの攻撃は、あの昨年5月の光州民衆蜂起を頂点とした韓国民衆の偉大な斗いに対する報復弾圧である。79、10、26以降、民主化維新陣営一掃の斗いを「民主主義」の民衆統一のための国民運動と「担」つてきた金大中氏らに対して金斗煥は、17ワーデタでもって根をき弾圧を加え、続いて光州蜂起に対して血の弾圧でもって臨んだのだ。韓国民衆のうち続ける決起に対して、全斗煥は、次々と報復弾圧をかけてきており、体制の危機を金大中氏林毅不棄り切らんとしているが、現在、韓国経済は破綻しており、第二の光州、第三の釜山、馬山が訪れることは必至である。

日帝はこのかん、金大中氏に対する死刑攻撃に、政財界人の再度の訪韓、円借款の凍結、解除など、積極的に加担している。我々は、韓国新植民地主義支配も自らの生命線としてテコ入れを続ける日帝を許すわけにはいかない。自らの解放をかけて、日帝の死刑加担粉砕、執行阻止を斗い続けなければならぬ。今また2月初頭に全斗煥を迎えようとしている。

7*23全学集会へる (正午、正門)

本日、全学自治会同窓会は正門前にて全学集会を予定している。判決は2時すぎと言われているが、死刑判決阻止、執行阻止の斗いを断固としてとりくんではいけない。12月の京大での死刑阻止斗争の高揚は、まさに全国最先鋒というに恥ないものであった。7月の運動はこれを上回るものでなければならぬ。全北バリストを主体的参加によって深化、防衛する中、全学集会に全ての諸君が結集して更なる高揚をかちこころ。さらに、教養部生諸君は7*29代大にとりくみへ代大勝利リストで、何か何でも死刑を阻止する斗いに決起されんことを訴える。共に斗わん!

同窓会 闘争を断固支持